



安全な収録を行うために

AJA Ki Proシリーズをご購入頂きありがとうございます。Ki ProやKi Pro miniなどのテープレスメディアレコーダーは適切な条件で使用すれば安全な収録が行えます。しかしテープレコーダーやテープカムレコーダーと特性が異なるため、既存のスタイルで収録に臨むと思わぬトラブルが発生することがあります。テープレスメディアレコーダーの特性に配慮し、収録現場において安全・快適に活用いただくための備えが必要です。下記をご確認の上、より安全・快適かつ確実な収録環境をご用意ください。

注意事項（ご使用前に必ずご確認ください）

■収録中に電源が落ちないようにしてください

・ Ki ProシリーズはHFS+フォーマットのメディアにファイルを収録するため、他のテープレスデバイスの様に2GB毎にファイルが区切られることはありません。このため収録中に電源が切れるとそのファイルデータすべてが失われます。電源アダプタを使用の際は電源ケーブルが抜けたりしないようご注意ください。バッテリーを使用の際はバッテリー残量に注意してください。バッテリー残量がLowとなった場合には直ちに収録を停止/中断し、Ki Proの電源を落としてください。

※バッテリー残量が低くなった事をKi Proが検知した場合に自動的に収録をストップする機構が働きますが、バッテリーが著しく消耗しているなどの条件により正しく働かないことがありますのでご注意ください。

・ Ki Proシリーズは長時間収録の際、ストップボタンを押入後の処理に時間が掛かる場合があります。これは直前の収録データファイルを閉じるため必要な処理ですので、この処理が完了するまで電源を落としたりアンマウント作業を行ったりしないようにしてください。この処理が完了しないと収録ファイルは再生したり読み出すことができなくなります。

■アンマウントせずにイジェクトしないでください

・ メディアがKi Proシリーズにマウント（認識）されている状態でイジェクトボタンを押しメディアを取り外すと、メディア内部のファイル構造が破損し収録データが失われるため可能性があります。メディアを取り外す時は必ずSLOTボタンを押してメディアをアンマウントし、マウントLEDが消灯しているのを確認してからイジェクトボタンを押してください。

■強い振動が加わる現場での使用にはご注意ください

・ 本体に標準で付属のKi Storage Moduleは、内部にハードディスク・ドライブ(HDD)が納められています。HDDは振動に強くないため、連続的に振動が加わる車載撮影や空撮、あるいは高い音圧のかかる現場での収録時にコマ落ちやHDDのトラブルが発生することがあります。この様な環境での使用が想定される場合は、Ki Storage Moduleの使用は避け、内部にソリッドステート・ドライブ(SSD)を採用したKi SSD Moduleをご使用ください。

■Ki Proの上部に物を置かないでください

・ 収録/再生中のKi Proは非常に高温になります。熱によるダメージを避けるため、Ki Proの上部に重ねて物を置かないようにし、空気の流れる空間を確保してください。

■収録設定ミスにご注意ください

・ Ki Proは本体内部にアップ・ダウン・クロスコンバーターを内蔵しています。この機能により入力信号フォーマットと異なるフォーマットで収録ファイルを作成する事ができます。期待するフォーマットで正しく収録を行うため、収録前にSTATUSボタンで表示される収録設定を確認してください。

■ボタン操作ミスにご注意ください

・ Ki Proシリーズは1回のストップボタン押入で、収録/再生を一時停止します。収録/再生中に誤って触れると思いがけず停止してしまうことが考えられます。誤ってボタンに触れたりすることの無いようボタンへのアクセスには注意してください。



■収録メディアにはショックを与えないでください

- ・メディアは強い電氣的ショックや過度の振動など想定外の刺激を受けた場合に致命的なトラブルが発生する危険性があります。特にKi Pro 本体からのイジェクトや、Mac/PCに接続してのバックアップ作業時には注意が必要です。定められた手順・方法でメディアを扱ってください。
- ・Mac/PCのFireWire(IEEE1394)ポートに不良がある場合、過電圧などの負荷により接続されたKi Storage Moduleを破損させる場合があります。収録前に接続テストを行うなど、Mac/PCのコンディションを事前に確認することをお奨めします。
※PowerMac G5と接続する場合は、Ki Storage Module付属の電源アダプターを使って給電してください

■単独収録は避けて、バックアップ収録体制を整えてください

- ・Ki Proはハードディスク・ドライブ(HDD)やソリッドステート・ドライブ(SSD)を、Ki Pro miniはCFカードを記録メディアとして使用します。これらのメディアは通常の使用環境下にあっても、不可抗力的に突発的な故障や事故が発生する場合があります。この様なトラブルは収録・再生中やデータのバックアップ中など、いかなるタイミングでも発生する可能性があります。また、Ki Proは記録メディア側のコンディションによるデータ欠損などのエラーを収録中に検知する機構がありません(必要なデータレートが得られない場合やメディアに問題がある場合は警告されます)。記録メディアのトラブルは収録データの消失へとつながります。収録の際はKi Pro/Ki Pro miniでの収録と同時にカメラでの収録も行う、あるいは1台のカメラから複数のレコーダー(例えばKi ProとKi Pro mini)に同時に収録を行うなどのバックアップ収録体制を整えることを強く奨励します。

■収録データは速やかにバックアップしてください

- ・ファイルベースのシステムはトラブルが発生した場合、断片的であれ記録データを読み出せるテープと異なり、メディアから収録データを復旧させるのは非常に困難です。収録データを単一の記録メディアで保持し続けることは好ましくありません。収録後は速やかに複数の信頼できるデータ保存用メディアに収録データをコピー・バックアップしてください。

警告メッセージ例	状況
WARNING Input Format Changed	収録開始後に、入力信号が遮断されたり変更された場合に表示されます。この場合、Ki Pro は収録を停止します。
WARNING Record Format	Ki Pro にビデオ入力がない場合に表示されます。この状態では収録は実行されません。
WARNING A/V Mismatch	SDIビデオに対し HDMI オーディオが選択されている、または HDMIビデオに対し SDIオーディオが選択されている場合に表示されます。SDIやHDMIのエンベデッドオーディオは、ビデオと一致させる必要があります。アナログオーディオは、すべてのビデオ入力に使用できます。
WARNING Dropped Frames	メディアの性能が不十分で、収録や再生に必要な データレートが得られない場合に表示されます。このメッセージが収録中に表示された場合は、現在収録されたデータのバックアップをとり、メディアをフォーマットすることを検討してください。再生時は、もう一度実行してみてください。
WARNING Media Low	メディアの残容量が15%しかない場合に表示されます。残容量が 10% になったときは、メディアの交換が必要です。残量が10% になると、メッセージ "WARNING Media Full" が表示されます。
WARNING Media in Use	操作中に SLOT ボタンを押してメディアを取り出そうとした場合に表示されます。操作を完了させてから、もう一度ボタンを押してください。
WARNING Media Not Present	メディアが物理的に取り外されている状態でSLOT ボタンが押されると表示されます。
WARNING Media Unrecognized	メディアに問題がある場合に表示されます。この問題を解決するには、Mac OS X で動作するApple コンピュータにドライブをマウントして、メディアのクリップをコピーしてから、もう一度 Ki Proにメディアを装着してください。正常に読めない場合は、メディアのフォーマットが必要です。
WARNING Storage Removed	SLOT ボタンを押して正しくメディアをアンマウントしないままメディアを取り外した場合に表示されます。この状況では、そのままメディアを Ki Pro に装着しなおすと、クリップが "N/A" 表示になり、それ以上収録することはできません。この問題を解決するには、ドライブをMac OS X で動作する Apple コンピュータにマウントしてから、メディアを装着しなおしてください。正常に読めない場合は、メディアのフォーマットが必要です。
WARNING Backup and Reformat	Ki Pro にマウントされているメディアに問題がある場合に表示されます。メッセージが示すとおり、他のドライブやディスクアレイに コピーしてメディアをバックアップしてからフォーマットしなおすのが最善策です。以下のような場合は、メディアが読み取り専用状態になっている可能性があります。 <ul style="list-style-type: none">・クリップがメディアに収録されているにも関わらず、ディスプレイのクリップ領域に "N/A" が表示される。・実際にクリップをロードしていないにも関わらず、ディスプレイのクリップ領域に "Loading" が表示される。・Ki Pro をすべて正しく設定して RECORD ボタンを押したにも関わらず、収録が実行されない。